



取締役副社長

HOSHI TOSHIKAZU

星 寿和

従業員の皆さん、1年間本当にお疲れ様でした。日々の業務への真摯な姿勢に、心より感謝申し上げます。皆さんの尽力で、今期は目標として掲げてきた「売上100億円」を突破できる見込みとなりました。しかし、これはゴールではなく、さらに強く魅力的な組織へ進化するスタート地点です。本日は1年の振り返りと、これからの姿についてお話しさせていただきます。

### 悲願の達成と社員の成長

今期達成見込みの100億円という成果。これは現場で汗を流し、お客様と向き合い続けた皆さんの努力の結晶です。私は数字以上に、そこに至るプロセスでの成長を、何よりも嬉しく思います。特に印象深いのは、営業チームの川窪さんです。今年、秋葉原の「モーモーパラダイス」などを手掛けるワンダーテーブル様の仕事を初受注しました。入社以来8年間もアプローチを続けていたお客様です。元々は教員志望で、建築知識ゼロで入社した川窪さん。新人のころから壁にぶつかりつ



▲幼少期のお写真

つも、諦めずに足を運ぶ姿を見てきたのです。「ずっと追い続けているな」と見守っていたところ、ついに受注が決まり、8月に先方社長様へのご挨拶へ同行することに。その際、先方の担当の方から「8年間も通っていただいて」とお言葉をいただき、胸が熱くなるのを感じました。「すごく



▲学生時代のお写真

頑張ったな」と心から思いましたね。受注も素晴らしいですが、一人の社員がこれほど粘り強く信頼を勝ち取るまでに成長したこと。それが、この1年で最も心を動かされた出来事でした。

### 組織の進化を促す「凡事徹底」と教育改革

大きな成果を達成見込みの今、私たちには組織としての「質」をさらに高めることが求められます。規模の拡大に伴い、一つひとつの行動が会社の信頼を左右するようになるからです。その第一歩が、「当たり前のことを当たり前にする」習慣の徹底です。タイムカードの打刻や研修参加など、基本ルールの遵守率がまだ100%ではない現状があります。「これくらい」と思わず、小さな規律を守ることが組織の強さにつながるのです。

また、来期以降は「人材教育」の再構築に注力します。入社直後の研修に加え、配属後のフォローや指導側のスキルアップも急務です。教える側が育てば、教わる側も育つ。「人が育つスパイラル」を今後5年、10年かけて作り上げたい。「会社が人を育てる」、そのような当たり前のことができる組織にしたいのです。皆さんの成長を全力でバックアップしますので、ぜひ期待してほしいと思います。

### 次世代リーダーへ、想像と仕事を楽しむ心を

特に、次世代を担うリーダー層の皆さんに求めたいことがあります。それは、AIなどのデジタル技術が進化しても、店舗づくりで最も大切な「想像する楽しみ」を追求し続ける姿勢です。理念で

ある「喜びあふれる感動空間」の実現。それは図面通りの施工だけでなく、お客様が笑顔で食事を楽しむシーンまで想像し、「どのようにすればもっと喜んでいただけるか」を考え抜くことです。そこまで思いを馳せた空間には作り手の「魂」が宿り、熱意は伝わります。仕事には厳しい納期やプレッシャーを感じる場面もあるでしょう。私自身も多くの失敗を経験しました。しかし、そのようなときは「時間が解決してくれるよ」と、肩の力を抜いてみてください。逃げずに誠実に向き合えば、辛い経験も必ず糧となります。私自身、「殺されるわけじゃないし」と腹を括ることで、プレッシャーを乗り越えてきました。それくらいのポジティブさを持って、リーダーである皆さん自身が仕事を楽しんでください。

### 変わらぬ「人の良さ」と共に挑む未来

入社して27年、私が変わらず大好きなのは、当社に息づく「人の温かさ」です。風通しが良く、仲間を助け合う風土があり、「みんないい人だな」と日々感じています。この社風は規模が大きくなっても、決して変わることなく守り抜きます。今期の100億円達成を自信に変え、この成果を来期以降も計画的に達成し続ける強い企業体質を皆さんと作りたいのです。仕事は人生の多くの時間を占めます。だからこそ、楽しみましょう。辛さも含めて「経験」として楽しみ、お客様と自分のために最高の仕事をする。そのような活気に満ちた株式会社日商インターライフを、これからも全員で作っていきましょう。

1年間、本当にありがとうございました。来期もよろしく願いいたします。



▲2026年も頑張っていきたいと思います！

オフィスビル改修工事を支える  
プロフェッショナル

# 商環境本部 CS2部5課 を紹介します

若手からベテランまで幅広い層の中で、技術の継承と人材育成に力を注ぐCS2部5課。人手不足という業界共通の課題に対し、チームとしてどのように向き合い、成長を目指すのか。高橋副部長に、チームの現在地と今後の展望を伺いました。

商環境本部  
CS2部5課 副部長  
たかはし やすし  
**高橋 康史さん**



## CS2部5課ってどんなチーム?

### 信頼と実績に基づく受注と技術継承

メンバーは私を含めて6名の男性社員で、年齢層は20代から60代までが在籍しています。主に携わるのは、**オフィスビル内の改修工事**です。現場の規模は大小様々ですが、社員は現場の責任者として、職人さんへの指示出しやお客様との打ち合わせなど、工事全体の管理を担います。全員が揃う機会は少ないものの、個別に相談し合うなど連携を取りながら業務を進めています。



## チームのここが良い!

### 築き上げてきた「実績」と「信頼」

当課の強みは、これまでの**実績に基づいた「信頼」**にあります。先輩方が築き上げてきた技術と対応力が評価され、特命に近い形で継続的にお仕事をいただく機会が多くあります。

### 技術継承につながる実践的な教育環境

幅広い年代の社員が在籍し、**技術継承がしやすい環境**であることも大きな利点です。経験豊富なベテランと若手が同じ現場に入ること、実践的な教育が可能となっています。

## チームで注力していること

### 次なるステージを目指した人材育成

現在、チームとして注力しているのは、人材育成です。人手不足の中で組織力を高めるには、若手は中堅へ、中堅はベテランへと、それぞれが一歩先のレベルへ成長することが不可欠だと考えています。特に**若手社員には、物流調整や現場指揮など高度なマネジメントが求められる大型案件も、責任者として完遂できる力を身につけてほしい**と期待しています。

## チーム全体の課題

### 若手の挑戦とベテランの先読みサポート

スキルアップのために求めているのは、失敗を恐れずに自ら挑戦する姿勢です。経験値が不足している段階では難しい場面もあるでしょう。そうした場面では、周囲の力を得ながら、**「まずはやってみる」というチャレンジ精神を持って経験を積んでほしい**と思います。

一方、ベテラン社員に求めるのは**「先読み」によるサポート**です。工程表を作成し、先の状況を予測して環境を整えることで、若手社員がスムーズに業務できる土台を作ってほしいと考えています。

### チームの今後の目標と 激励のメッセージ

### 主体的な行動と健康第一を掲げ団結!

今後の目標は、限られた人員の中でも、一人ひとりが自ら考え行動できるようになることです。少し先の未来を考える余裕が生まれれば、仕事への取り組み方が変わり、新たな夢も広がっていくのではないのでしょうか。そして最後に皆さんへ伝えたいのは**「健康第一」**。体調には十分に気を配り、2026年も全員で力を合わせて頑張っていきましょう。

# 私が日商インターライフで働き続ける理由

仕事において壁にぶつかったとき、どのように乗り越えればよいのでしょうか。入社以来、さまざまな経験を経て現在は管理部で活躍中の川津さんに、仕事への向き合い方と働き続ける原動力を語っていただきました。

川津 智佳子さん

管理部  
管理課  
チーフ



## 現在の仕事のやりがい

### 正確な業務遂行

日々ミスなく業務を遂行できたときに、確かなやりがいを感じています。小口現金の管理を担当して3年以上になりますが、金額の不整合がほぼ発生することなく業務を行えています。これは周囲の皆さんの協力があるからこそですが、滞りなく進められていること自体に安堵と達成感を覚えます。この業務はいつかは誰かに引き継ぐもの。自分自身が担当し続けるのではなく、将来的に他の誰かが担当しても問題なく業務が回るよう、先のことを考えながら日々の業務に取り組んでいます。

## キャリアの迷いと乗り越えたきっかけ

### 存在意義を見失うも異動で解決

過去にはキャリアに迷いを感じた瞬間が何度かありました。

一度目は入社4年目の頃です。当時の配属先では業務が落ち着いており、「もっと会社に貢献したいのに」と自分の存在意義に悩んでいました。その際は、当時の他部署の部長に話をしたことが転機に。「人が足りないから来るか」と声をかけていただき、異動することで環境を変えることができました。**今の状況や思いを自分だけで抱え込まず、周囲に意思を伝えたことが解決につながりました。**

### 覚悟を決めて乗り越えた多忙さ

二度目は、逆に業務過多になった時期です。チーム体制の変化により、一時的に多くの業務を一手に引き受ける状況になりました。そのときは「やるしかない」と腹をくくり、目の前の仕事に無心で取り組みました。必死に業務に向き合ううちに仕事にも慣れ、「いけるかも」と思うように。**悩む暇もなくなるほど没頭**することで、苦しい時期を乗り越えることができました。

## 日商インターライフの好きなところと今後の目標

### 居心地の良い場所で新しい仕事にもチャレンジ!

現在、この会社で長く働き続けられている理由は、自分にとっての「居心地の良さ」にあると感じています。熱烈に会社が好きだという感情とは少し異なり、無理なく自然体でいられる環境だからこそ、継続できているのでしょう。特に仕事内容に関しては、自分に合っていると感じて

います。文章作成などは得意ではありませんが、数字を扱ったり、計算をして整合性をとったりする業務は好きで、今の仕事にやりがいを感じる日々です。また、周囲の方々に日々助けられていることも大きく、人間関係に恵まれていることにも感謝しています。今後は、新しい仕事にもチャレンジしたいと考えています。



# 思い出すのは あの日の バレンタイン!

2月14日はバレンタインデー。思い出深いエピソードと、好きなお菓子についてお話を伺いました。あなたもぜひ思い出のバレンタインデーを思い出しながら、日々の頑張りをチョコレートやお菓子で癒やしてみたいはいかがでしょう?

Valentine's memory



商環境本部 本部長  
しみず あつし  
清水 篤さん

好きなお菓子は  
チョコ系のお菓子!



あの日のバレンタインにタイトルをつけるなら?

『義理チョコばかり!』

義理チョコばかりだったので記憶も薄く、特に印象的なエピソードがありません……。



経理課  
えんどう じゅんこ  
遠藤 順子さん

好きなお菓子は  
おせんべい!



経営企画部 チーフ  
しばた  
柴田 エミさん

好きなお菓子は  
カールのチーズ味!



あの日のバレンタインにタイトルをつけるなら?

『夢みる夢子!』

もう50年以上前のことなのですが、当時少女コミックに連載中だった『ベルサイユのばら』のオスカルと『エースをねらえ!』の藤堂さんに恋しておりました。そんな中、中学の先輩になんと藤堂さんにそっくり(自分の思い込み)なお方がいたのです。私は、頑張っってハートのチョコ(既製品)を手渡しました。ライバルがたくさんいましたが、喜んで受け取ってもらえました。卒業式の日、制服のボタンをもらう約束をして……。しかし、卒業式の後、約束通りにお会いしたらなんとボタンは一つも付いていませんでした。ライバルが多かったのです!学校には現STARTO ENTERTAINMENTのジュニアの子がいて、正門前にはよく追っかけの女の子が待機していましたが、藤堂さん似の先輩の方がずっとかっこよかった♪  
今頃どうしているのかしらと思い出すこともありますが、美しいままの姿を永遠に心にしまっている夢見る夢子のお話でした。



あの日のバレンタインにタイトルをつけるなら?

『ふざけるのには高すぎた件。』

当時付き合っていた彼へのバレンタインプレゼント。「誰もプレゼントとして買わない、ネタとしてウケるものないかな?」と考えて辿り着いたのが「便座」。エッ!?  
安心してください。ちゃんと「温水洗浄」付きです。(そこ?)  
彼が住んでいたお家は温水洗浄便座じゃなかったので、「ちょっとこれプレゼントしたら、ウケるっしょ(笑)」と、1人でニヤニヤしながら便座を買いに。ただ実際見に行ってみたら、ふざけるにはちょっとお値段が……。 「でも、どうせ私も使うし!」と、ちょっとお高めの良いものをチョイス。そして、梱包された愛しき便座は、想定外の大きさのダンボール姿で登場。「……(白目)」しかし、その日に渡したかったので、激重デカダンボール便座を抱え、そのまま電車で彼宅へGO。重すぎて、このまま車内に置き去りにして帰ってしまいたいという邪念に打ち勝ち、無事プレゼントすることができました!そして、大爆笑していただき、めでたしめでたし。じゃなーいっ!  
その後、色々なトイレ事情により、便座取付は先延ばしとなって数か月後……。その便座に座る夢が叶う前に振られたぞー!  
あれ?トイレの神様っているって言ってなかったっけ?  
今となっては、楽しい思い出です(笑)

